

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：交通対策費

事業名【新】路線バス利用促進事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

都市建築部 都市公園整備局 電話番号：058-272-1111(内4936)
公共交通課 地域交通係

E-mail：c11134@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 21,000 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	21,000	0	0	0	0	0	0	0	21,000
決定額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

・人口減少や自家用車の普及によりバス利用者が減少し、不採算路線の撤退等がみられる中、新型コロナウイルスによる外出自粛や燃料費高騰等の影響により、県内公共交通機関の利用者数は一層減少している。一方で増加する高齢者や学生の移動手段として維持存続が求められている。

・国の有識者検討会において提言されている利便性・持続可能性・生産性が高い交通を実現し、公共交通の利用を促進していくためにも、デジタル技術を活用した効率的なサービスの提供や、交通事業者による共創に取り組むサービスの開発・提供が求められており、公共交通を利用する様々な機会の創出が必要である。

(2) 事業内容

県内広域バス路線事業者の、公共交通機関の利便性を高め、利用促進に資する次の事業に係る経費の一部を補助する。

- 1 バス停留所等のデジタル化に要する経費
- 2 公共交通機関を使った企画やそのPRに係る経費
 - (1) デジタル技術を活用した企画
 - (2) 官民、複数の交通事業者、他分野のいずれかと連携した企画

(3) 県負担・補助率の考え方

補助率：1/2

2/3 ((2) 2の両方の要件に当てはまるもの)

補助上限額 3,000,000円/事業者

(4) 類似事業の有無

地方鉄道事業者に対する類似事業に地方鉄道経営安定化支援事業費補助金があるが、バス事業者に対する類似事業はない。

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	21,000	県内広域バス路線事業者の、公共交通機関の利便性を高め、利用促進に資する次の事業に係る経費の一部を補助
合計	21,000	

決定額の考え方

事業効果が見通せないことから、計上を見送ります。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

○「清流の国ぎふ」創生総合戦略

③地域公共交通体系など生活サービスの再編・効率化

(地域公共交通の維持と再編)

・地域鉄道の維持確保のため、安全運行に必要な設備投資等を支援するとともに、バス交通の維持確保のため、広域幹線バス路線や市町村自主運行バスの運行を支援する。

○岐阜県地域公共交通計画

地域公共交通の「活性化」

(4) 県民等への利用促進啓発

・県は、県民や来訪者に対して公共交通の積極的な利用を促す取組みを新たに検討・実施します。取組みの実施にあたっては、公共交通のクロスセクター効果のPR、パークアンドライドの推進等、自家用車へ過度に依存しない移動の啓発に努めます。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	【新】路線バス利用促進事業費補助金
補助事業者（団体）	広域バス路線事業者 (理由)
補助事業の概要	(目的) 公共交通の利用を促進する。 (内容) 公共交通事業者による、公共交通機関の利便性を高め、利用促進に資する事業に係る経費の一部を補助
補助率・補助単価等	定率 (内容) 1 / 2 2 / 3 (公共交通機関を使った企画商品の割引販売に係る経費のうち、複数の要件に当てはまるもの) (理由) 経費の一部相当額
補助効果	利便性の高い公共交通サービスの開発が進み、利用者が増加
終期の設定	終期 7 年度 (理由) 事業開始から 3 年以上経過

(事業目標)

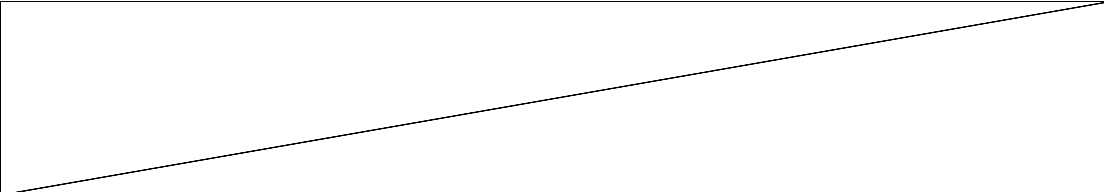
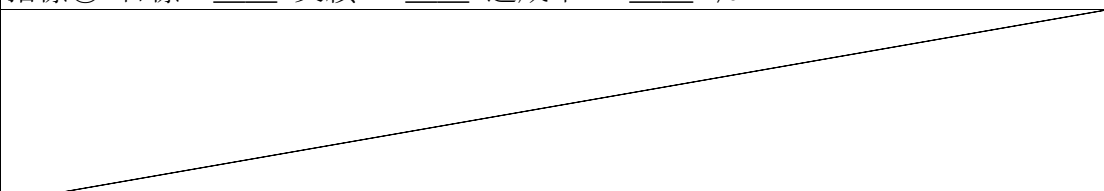
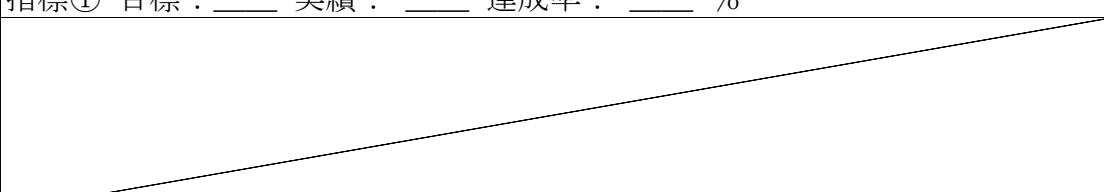
<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか デジタル技術を活用した企画商品や、官民、他の交通事業者、他分野と連携した企画商品の開発が進み、利用者にとって利便性の高い公共交通の選択肢が増えている状態。</p>
--

(目標の達成度を示す指標と実績)

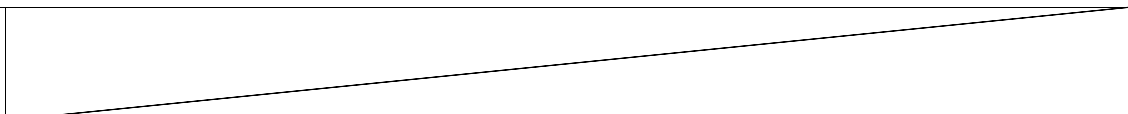
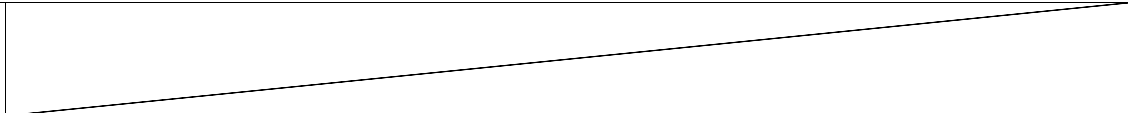
指標名	事業開始前 (R3)	R4年度実績	R5年度目標	R6年度目標	終期目標 (R5～7計)	達成率
	① 補助事業を利用して開発された新規商品数	/	/	10	10	30

補助金交付実績 (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度
	/	/	/

(これまでの取組内容と成果)

令和 2 年度	
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和 3 年度	
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和 4 年度	
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 3	人口減少、外出自粛等の影響により、県内公共交通機関の利用者数が減少している中、利便性の高い公共交通の実現が求められている。
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)</p>	
(評価)	
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価)	

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</p>

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</p>
